

口ガーハーネス

Logger Harness

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用の前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものであり本製品の安全システム全体を解説するものではありません。本製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください。また、本製品の機能とその限界、使用する活動に伴う危険について十分理解してください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。また、本説明書を紛失した際は弊社ウェブサイトよりダウンロードすることができます。

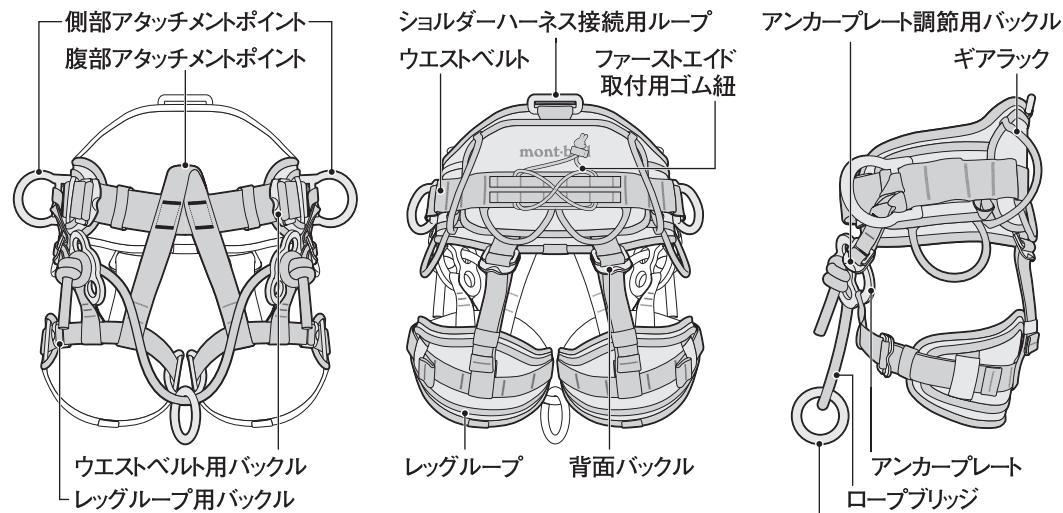
■ 使用目的及び使用上の限界

本製品は墜落からの保護を目的とした個人用保護具（PPE）です。ツリーケア用シットハーネス、ワークポジショニング及びレストレイン用ベルトです。別売の「ロガーチェストハーネス」との組み合わせことで、厚生労働省の定める「墜落制止用器具の規格（フルハーネス型）」に適合します。

本製品の最大使用荷重：100kg（ユーザーの器具を含む）

本製品の限界を超えて使用しないでください。また、本来の用途以外での使用はしないでください。

■ 各部の名称



■ 安全上の注意 必ずお読みください

危険

人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

○ツリーワークやロープ高所作業は常に潜在的な危険をはらんでいます。たとえ用具の正しい選択、使用、お手入れ、保管を行なっていても重傷や死亡事故などに至る危険性を完全に排除することは出来ません。個人の責任においてツリーワーク、ロープ高所作業を行なってください。（株）モンベルでは本製品の誤った使用に起因する損害や重傷、死亡事故に対しても責任を負いません。

○本製品は墜落からの保護を目的とした個人用保護具（PPE）です。ツリーケア用シットハーネス、ワークポジショニング及びレストレイン用ベルトです。別売の「ロガーチェストハーネス」との組み合わせで、厚生労働省の定める「墜落制止用器具の規格（フルハーネス型）」に適合^{*}します。

※別売ロガーチェストハーネスと併用の場合のみ「墜落制止用器具の規格」に適合します。本製品単体の使用では適合しません。

○本製品は前述の安全基準に適合していますが、いかなる事故や衝撃に対しても永久的に機能性、安全性を発揮するものではありません。

○本製品の最大使用荷重は100kg（ユーザーの器具を含む）です。本製品の限界を超えて使用しないでください。また、本来の用途以外（登山、クライミングなど）には使用しないでください。

○本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、十分に保護能力が発揮できない恐れがあります。本製品の改造に起因する損害事故、負傷事故、死亡事故について、一切の責任を負いません。

○本製品は使用方法を熟知していて責任能力のある人、あるいはそれらの人の目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。使用前に適切な練習が必要です。

○本製品を実際にご使用になる前に使用方法を熟知していて責任能力のある人のもとで、適切なサイズであるか、使用目的に適した快適性を備えているかを確認するために、安全な状況で本製品を着用してぶら下がりテストを行ってください。

○ギアラック・ギアループは用具を携行、整理する目的のみで使用してください。ギアラック・ギアループは懸垂下降、ロープの連結、自己確保には絶対に使用しないでください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

○各アタッチメントポイントは、シットハーネス、ワークポジショニング、またはレストレインの目的のみに使用できます。（最大許容落下距離0.6m）各アタッチメントポイントはフォールアレストの目的で使用することはできません。また、状況に応じてワークポジショニングやレストレインシステムに加えて、共同の確保システム（手すり、安全ネット等）や個人用のフォールアレストシステムを併用する必要があります。

○本製品と併用する器具は、お客様の責任のもと、CEマークや厚生労働省の適合規格品の表記を持つ製品を選択してください。併用する器具の取扱説明書及び、最新の規格を確認し、正しい使用方法や機能的な限界を確実に理解してください。

○すべての構成器具が正しくセットされていて、相互の機能を妨げないことを確認してください。

○本製品や併用する器具に常に注意を払い、状態を確認してください。

○使用前に毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。

○強い衝撃を受けた本製品は外観に損傷が無くとも極端に強度が低下していますので破棄してください。
●劣悪な使用環境 ●極端な高温（50°C以上）/低温化（-30°C以下）での使用や保管 ●化学薬品との接触等

上記のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください。

○本製品の使用中に遭遇しうる困難な状況を想定して救助計画や実行方法について準備しておいてください。

○正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。

■ 使用前後の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

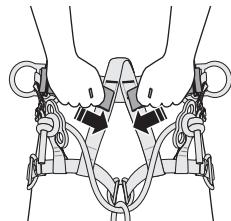
- 各バックルが正しく機能するかどうか
- テープに焼け、切れ目、縫い目のほつれなどがないか
- 金属部分にサビや金属腐食が発生していないか
- 退色などの紫外線劣化が発生していないか
- ロープブリッジに切れ目、熱による損傷、繊維のほつれや毛羽立ち、化学薬品による損傷等がないか
- ロープブリッジの結び目に縫みがないか、十分な末端を確保しているか

※ウエストベルト及び、レッグループのウェビングテープ、特にアタッチメントポイント部分、調節バックル部分、及び縫製部分を十分に点検してください。

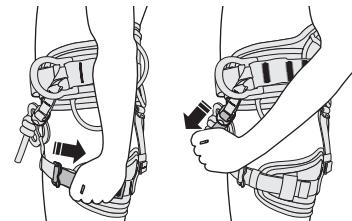
使用前の点検に加えて、十分な知識のある適任者による詳細な点検を最低でも1か月に1度行ってください。使用開始日と点検の記録は、製品のチェックリスト（本説明書最終ページに付属）に記録してください。また記録したチェックリストを保管し、点検と製品寿命の参考にしてください。

■ 使用方法

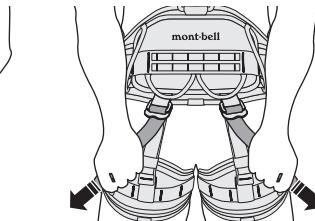
○着用方法



①両足をレッグループに通します。
ウエストのテープを引いてウエス
トベルトを調節します。



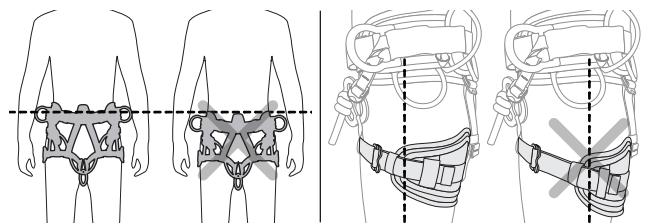
②左右のレッグループの側面と
前面のテープを引いてレッグ
ループを調節します。



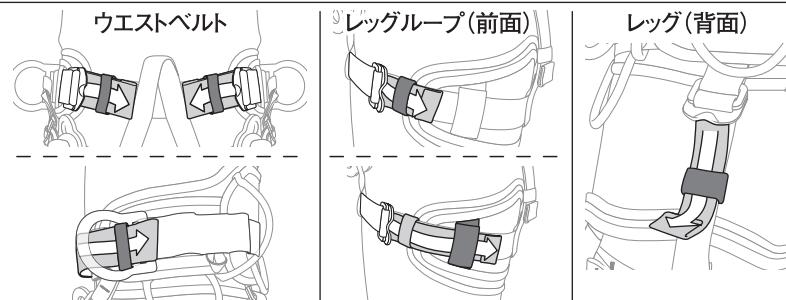
③レッグループ背面のテープを
引いてレッグループの位置を
調節します。

ウエストベルトは腰の位置に合わ
せます。

レッグループは右図のように位置と
テープの長さを調節します。



余分なテープの末端は
余った長さに合せて
ループに差し込みます。

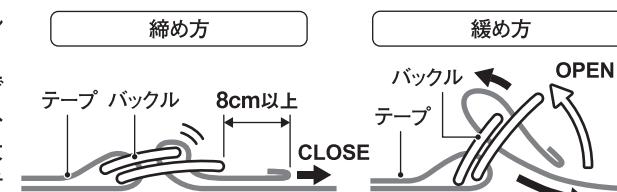


△ 危険

余ったテープ
はカットしない
でください。

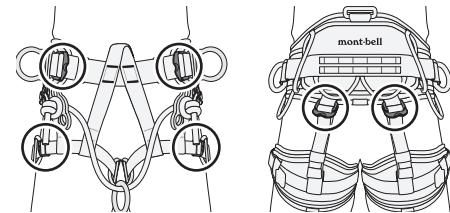
△ 危険 バックルの通し方は命にかかる重要なポイントです

テープは右のイラストのようにバックル
に通して使用してください。締めた際に、
テープの末端の余りが8cm以上必要で
す。余りが無い状態で荷重するとベルト
がすり抜け、解放する恐れがあるため大
変危険です。余りが無い場合は利用者
の体格が本製品の設定対応サイズを
超えている為、使用しないでください。

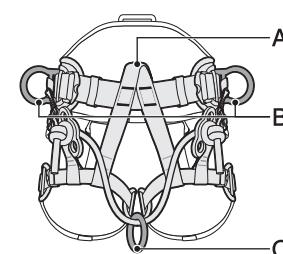


○使用にあたって

ハーネスが使用目的に合致し、正しいサイズでかつ十分に調節されていて、許容可能な快適レベルにあるかを安全な場所で宙吊りテストをして確認してください。使用中は、すべてのテープが調節され、バックルがしっかりと閉じているかを常に確認してください。



○アタッチメントポイントについて



A: 腹部アタッチメントポイント
C: ロープブリッジアタッチメントポイント
最大使用荷重: 15kN
用途: シットハーネス

B: 側部アタッチメントポイント
最大使用荷重: 15kN
用途: ワークポジショニング(U字吊り)
レストレイン



各アタッチメントポイントは絶対にフォールアレストシステムとの連絡に使用しないでください。本製品単体での使用は墜落防止目的に対応しません。

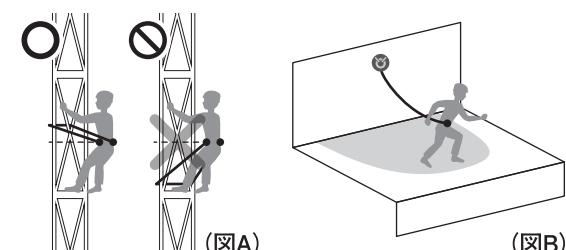
ワークポジショニング・レストレイン

側部アタッチメントポイントは、吊り下がった状態で体を支えて作業位置で安定した体制を取りワークポジショニング(図A)、または墜落の可能性がある場所にユーザーが侵入できないように行動範囲を制限するレストレイン(図B)のために使用します。

ユーザーがベルトで宙吊りになる、または動きの取れない状態になる可能性が予測される際は、ワークポジショニングを使用しないでください。

ワークポジショニングの際は支点がユーザーの腰の高さより上になるようにしてください(図A)。これらのアタッチメントはフォールアレストの目的としては使用できません。

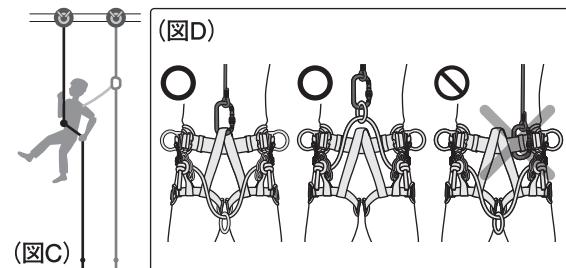
状況に応じてワークポジショニングやレストレインシステムに加え、確保システムや個人用のフォールアレストシステムを併用する必要があります。



シットハーネス

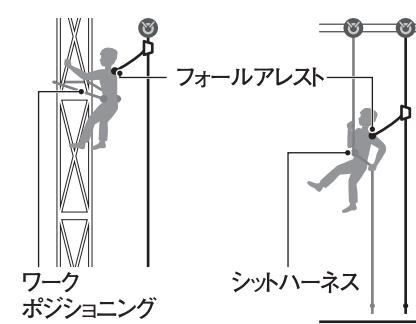
腹部・ロープブリッジアタッチメントポイントはロープアクセスでの宙吊り(シットハーネス(図C))において使用し、高所からの墜落を避けることを目的に作られています。

※ロープアクセス用の下降機や登高機の接続はロッキングカラビナを使用し腹部アタッチメントポイント、ロープブリッジアタッチメントポイントを使用してください(図D)。



フォールアレスト

フォールアレストシステムはワークポジショニングやシットハーネスとは独立した、墜落制止用のバックアップシステムです。作業者の墜落を止め衝撃荷重を抑える役割があります。フォールアレストシステムに使用する器具では、安全のためのアンカーアップまたはアンカーポイントを常に配置し、墜落の可能性および墜落距離を最小限に抑えるよう作業を行う必要があります。毎回使用前に作業者の下に十分なクリアランスがあることを確認し、墜落の際には地面または他の障害物に衝突しないようにしてください。

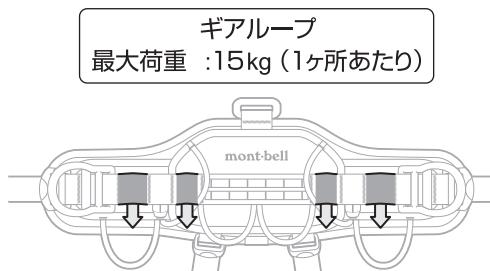
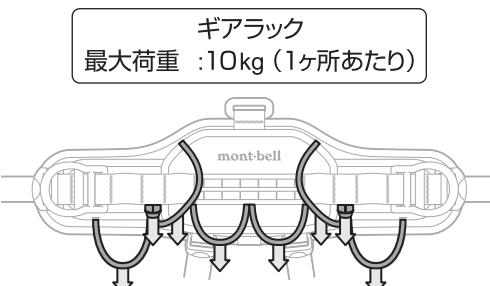


△ 危険・警告

- フォールアレストシステムでは、必ずフルハーネスを使用してください。別売のロガーチェストハーネスと組み合わせフルハーネスとして使用してください。接続方法はロガーチェストハーネスの取扱説明書を参照してください。
- フォールアレストシステムでは、墜落した際に地面や障害物に衝突することが無いように、毎回使用前に十分なクリアランスが使用者の下に確保されていることを確認してください。
- 墜落距離を短くし、危険を少なくするためにアンカーポイントが適切な位置に設置されていることを確認してください。
- 複数の器具を同時に使用する場合、1つの器具の安全性が他の器具によって損なわれる可能性があります。
- 本製品と併用する器具は、お客様の責任のもと、CEマークや厚生労働省の適合規格品の表記を持つ製品を選択してください。併用する器具の取扱説明書及び、最新の規格を確認し、正しい使用方法や機能的な限界を確実に理解してください。
- 墜落によりハーネスを着用した使用者が、意識のない状態や動きの取れない状態で吊り下げられた場合、重度の障害や命に関わる危険があります。負傷者を迅速に救助するための手順を定めておく必要があります。

ギアラック・ギアループについて

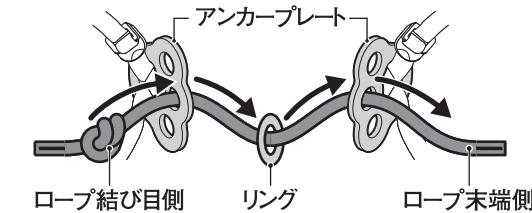
カラビナやツールホルダー等を使用し、各種用具の携行や整理に使用できます。各ループの1ヶ所当たりの最大荷重は下図を参照してください。また、カラビナ等の接続器具の取り付け方や、最大荷重については使用する器具の取扱説明書に従い、正しく使用してください。



ギアラック・ギアループは用具を携行、整理する目的のみで使用してください。ギアラック・ギアループは懸垂下降、ロープの連結、自己確保には絶対に使用しないでください。

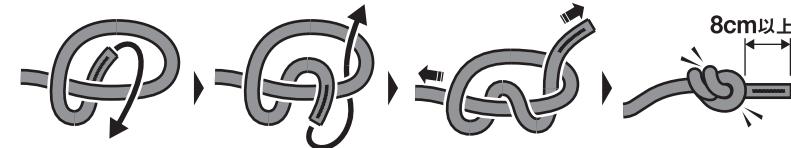
○ロープブリッジの交換方法

- ①片方のアンカープレートのセンターホールに外側からロープ末端側を通します。
- ②リングにロープを通します。
- ③もう片方のアンカープレートのセンターホールに内側から外側ヘロープを通します。
- ④ロープ末端は下図のように、きつく結んでください。



ロープ末端の結び方

末端の余りは8cm以上必要です。余りが無い状態で荷重するとロープがすり抜け、解放する恐れがあるため大変危険です。



ロープブリッジは激しい負荷がかかるため、摩耗の兆候が現れた時点で直ちに交換してください。また、使用前に損傷等がないか、結び目に緩みがないかを入念に点検してください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考してください。

- 海岸やその近くでの使用する際は直接海水に浸らなくても本製品に塩分が付着します。使用後は必ず真水で洗ってください。
- 汚れがひどい場合は40℃までのぬるま湯と中性洗剤を使ってください。洗剤成分が残らぬよう十分にすすぎをかけてください。乾燥は直射日光を避け風通しの良い日陰を選んでください。

■ 保管方法と運搬方法

- 本製品は収納用バッグ等に入れて携帯もしくは保管し、化学薬品との接触、直射日光下での放置を避けてください。保管する際は0°C以上で風通しの良い冷暗所で保管し、熱源、高湿度、鋭利な刃物、腐食を引き起こすものやその他損傷を与える可能性のあるものから遠ざけてください。
- 使用の有無や保管状態にかかわらず、本製品は時間の経過とともに徐々に素材の強度が失われてゆきます。また直射日光下での放置はさらに著しく強度が失われますので避けてください。
- 湿度の高い環境での保管は、金属部分の腐食、繊維部分の変質・強度低下の恐れがあります。
- 本製品を火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 耐用年数

- 本製品の強度は通常の使用においても時間経過によって低下します。本製品が消耗品であるということを理解したうえでご使用ください。本製品の耐用年数は適切なお手入れや保管が施されていることを前提として、おおよそ初回使用から最大10年です。ただし、あらゆる要因が製品寿命を縮めることを考慮してください。また、初めての使用であっても強い衝撃を受けた本製品は外観上の損傷が無くとも潜在的にはダメージを受け強度が低下していますので、直ちに使用を中止して廃棄してください。

■ 破棄方法

- 本製品を使用しなくなった場合は、以後使用されることが無いようにテープを切るなどして廃棄してください。
- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの ○間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの ○その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理をさせていただきます。

■ 仕様・サイズ

品番: 1132252
品名: ロガーハーネス
主素材: ナイロン、(メッシュ)ポリエステル
サイズ: S / M (ウエスト 65-85 cm レッグ 50-64 cm)
L / XL (ウエスト 81-101 cm レッグ 58-72 cm)

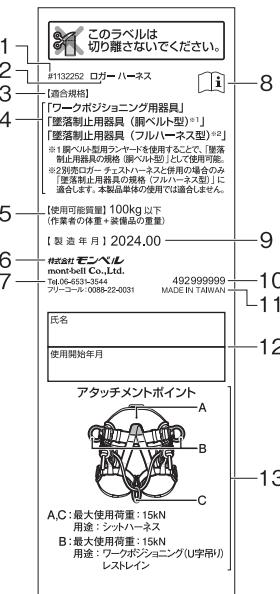
最大荷重: 100kg (ユーザーの器具を含む)

原産国: 台湾

認証: 厚生労働省 墜落制止用器具(フルハーネス型)*

*別売ロガー チェストハーネスと併用の場合のみ
「墜落制止用器具の規格(フルハーネス型)」に
適合します。本製品単体の使用では適合しません。

表示
(本体内側)



1. 品番
2. 品名
3. 厚生労働省「墜落制止用器具の規格」に基づく表示
4. 適合規格の種類
5. 製造における使用可能質量の保証値
6. 製造者 株式会社モンベル
7. お問い合わせ先電話番号
8. 取扱説明書をよくお読みください
9. 製造年月
10. ロットナンバー
11. 原産国
12. 氏名、使用開始年月記入欄
13. アタッチメントポイントの表示

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

点検チェックリスト

- 墜落制止用器具の点検は、管理責任者を定め確実に実施してください。また、その結果や管理上必要な事項を記録してください。
- はじめてご使用になる際に、必ず使用開始年月を記録し、以降の使用期間をチェックしてください。

使用前点検 使用者が作業の前に行ってください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

定期点検 管理責任者もしくは、十分な知識のある適任者による
詳細な点検を最低でも1か月に1度行ってください。

社名	部署	氏名	
製品名	製造年	使用年	管 理 No.

使用履歴の確認

下記のいずれかに該当する場合は、直ちに製品を廃棄してください。この点検チェックリストでの結果は、点検する製品が下記に該当しないことを前提とします。

- 改造や分解が行われた。
- 墜落による衝撃荷重を受けた。
- 極端な高温(50°C以上) / 低温化(-30°C以下)で使用された。
- 化学物質と接触した。
- 耐用年数が過ぎた。

製品の使用履歴の把握と点検はお客様の責任のもと、漏れや誤りが無いよう正確に行ってください。(株)モンベルでは誤った使用に起因する損害や重傷、死亡事故に対していかなる責任をも負いません。

安全に関わるパートの目視点検

テープの状態(切れ目、摩耗、熱で溶けた痕、傷、化学物質による汚染、その他の損傷)

主要な縫製部分の状態(切れ目、摩耗、縫糸のゆるみ)

アタッチメントポイントの状態(変形、傷、摩耗、腐食)

調節バックルやアンカーブレートの状態(変形、傷、摩耗、腐食)

ロープの状態(切れ目、摩耗、熱で溶けた痕、傷、化学物質による汚染、キンク、その他の損傷)

併用するコネクター等の状態、併用するにあたっての相性(形、サイズ等)

快適性に関わるパートの点検

ウエストベルト・レッグループのパッド、ギアラック・ギアループ等の状態

主要でない縫製部分の状態

作動点検

テープがバックルに正しく通されているか

バックルは正しく動作するか

コメント:

点検実施日	点検者氏名	評価	使用継続 / 廃棄
-------	-------	----	-----------